

## 生活関連物資定期調査の結果について

生活関連物資17品目（石油製品4品目、農林水産物資13品目）について、5月9日～13日に価格・需給状況を調査しましたが、その結果については以下のとおりです。

## 1 価格動向

## ① 石油製品

(単位：円（消費税込み）)

品目名	規格・容量	店舗形態	今回調査の 平均価格	前回調査 (2月)の 平均価格	対 前回比 (%)	前年同月 の 平均価格	対 前年比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	154	137	12.4	139	10.8
		セルフ	152	135	12.6	137	10.9
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	133	116	14.7	118	12.7
		セルフ	132	114	15.8	116	13.8
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,725	1,503	14.8	1,393	23.8
		セルフ	1,702	1,486	14.5	1,382	23.2
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,822	1,628	11.9	1,521	19.8
LPガス	一般家庭用、基本料金及び10m <sup>3</sup> を使用した料金	一般店舗	7,581	7,445	1.8	7,437	1.9

## ② 農林水産物資

品目名	規格	今回調査の 平均価格	前回調査 (2月)の 平均価格	対 前回比 (%)	前年同月 の 平均価格	対 前年比 (%)
うるち米	県内産、精米、コシヒカリ、5kg	2,105	2,022	4.1	2,231	▲5.6
牛肉	ロース 100g	310	326	▲4.9	334	▲7.2
豚肉	ロース 100g	194	178	9.0	188	3.2
鶏肉	ブロイラー、もも肉、100g	113	106	6.6	118	▲4.2
まぐろ	赤身(生)、切り身(刺身用)、「めばち」 または「きはだ」100g	442	387	14.2	367	20.4
キャベツ	中サイズ 1個	131	213	▲38.5		
ほうれんそう	1束	123	172	▲28.5		
ねぎ	中サイズ 1本	53	57	▲7.0		
だいこん	中サイズ 1本	122	142	▲14.1		
たまねぎ	中サイズ 1個	50	55	▲9.1		
牛乳	紙パック 1リットル入り	199				
納豆	50g 又は 45g × 3パックタイプ	102				
ミネラルウォーター	ペットボトル 2リットル入り	127				

(備考)

- ・農林水産物資の牛乳、納豆、ミネラルウォーターの3品目については、今回調査から特定監視品目として追加した。
- ・農林水産物資のキャベツ、ほうれんそう、ねぎ、だいこん、たまねぎの5品目については、平成22年8月調査から規格を変更した。

## 2 結果の概要

### 【石油製品】

- ・原油価格の上昇等により、前回調査(平成23年2月)と比較して、「ガソリン」が対前回は17円高(12.4%)、「軽油」が17円高(14.7%)、「灯油」が222円(1%あたり12.3円)高(14.8%)、「LPガス」が136円高(1.8%)と、すべての品目で値上がりとなった。
- ・直近では原油価格が値下がり傾向にあるが、海外原油市場の動向と併せ、石油製品の価格・需給動向を引き続き注視していく。

#### 《参考》県による緊急調査の結果(県内35店舗の平均)

○H23.4.25 調査：ガソリン(レギュラー)1リットル 154円	／	灯油(店頭) 18リットル 1,719円
○H23.4.11 調査：ガソリン(レギュラー)1リットル 156円	／	灯油(店頭) 18リットル 1,727円
○H23.4.4 調査：ガソリン(レギュラー)1リットル 156円	／	灯油(店頭) 18リットル 1,745円
○H23.3.31 調査：ガソリン(レギュラー)1リットル 157円	／	灯油(店頭) 18リットル 1,725円

### 【農林水産物資】

- ・「うるち米」が対前回は83円高(4.1%)、「豚肉」が16円高(9.0%)、「鶏肉」が7円高(6.6%)、「まぐろ」が55円高(14.2%)と値上がりした。
- ・野菜(「キャベツ」「ほうれんそう」「ねぎ」「だいこん」「たまねぎ」)は、前回調査(H23年2月調査：大雪等の影響により高値)と比較して大きく値下がりした。

#### 《参考》今回調査における野菜の出回り状況

キャベツ：主に千葉、神奈川県産	ほうれんそう：主に茨城、群馬県産
ねぎ：主に福島、茨城県産	だいこん：主に千葉、茨城県産
たまねぎ：主に北海道、佐賀県産	

#### 《参考》東京都中央卸売市場における青果物の週間市況(5月6日～5月12日)

(概況から抜粋)相場はこのところの潤沢入荷から安値基調となっている。

- ・「牛乳」「納豆」「ミネラルウォーター」の3品目は、震災直後は供給不足の状況にあったが、今回調査においては、一部の店舗で「ミネラルウォーター」の販売に数量制限を設けていたものの、供給状況はほぼ平常どおりに戻っている。

#### 【生活関連物資定期調査の調査方法等について】

##### ①調査方法

県内7地方振興局において、調査期間中に原則、調査店舗に出向き、当該店舗において表示価格の確認及び聞き取りにより価格を調査する。

##### ②調査の時期：

四半期に1回の調査とし、調査時期は、5、8、12、2月とする。

##### ③対象店舗数：

非定店舗35店舗(各地方振興局5店舗)

○「石油製品」については、調査店舗の内訳を下記のとおりとする。

ガソリン：一般店舗3、セルフスタンド2、軽油：一般店舗3、セルフスタンド2  
灯油(店頭)：一般店舗3、セルフスタンド2、灯油(配達)：一般店舗5  
LPガス：一般店舗5

○「農林水産物資」については、原則として、35店舗とする。

各店舗で販売されている福島県産の農林水産物は、いずれも安全性が確認されたものです。

～ がんばろう Fukushima! 福島県の農林水産業を応援しましょう! ～

